4.出産後の就業継続環境は改善した

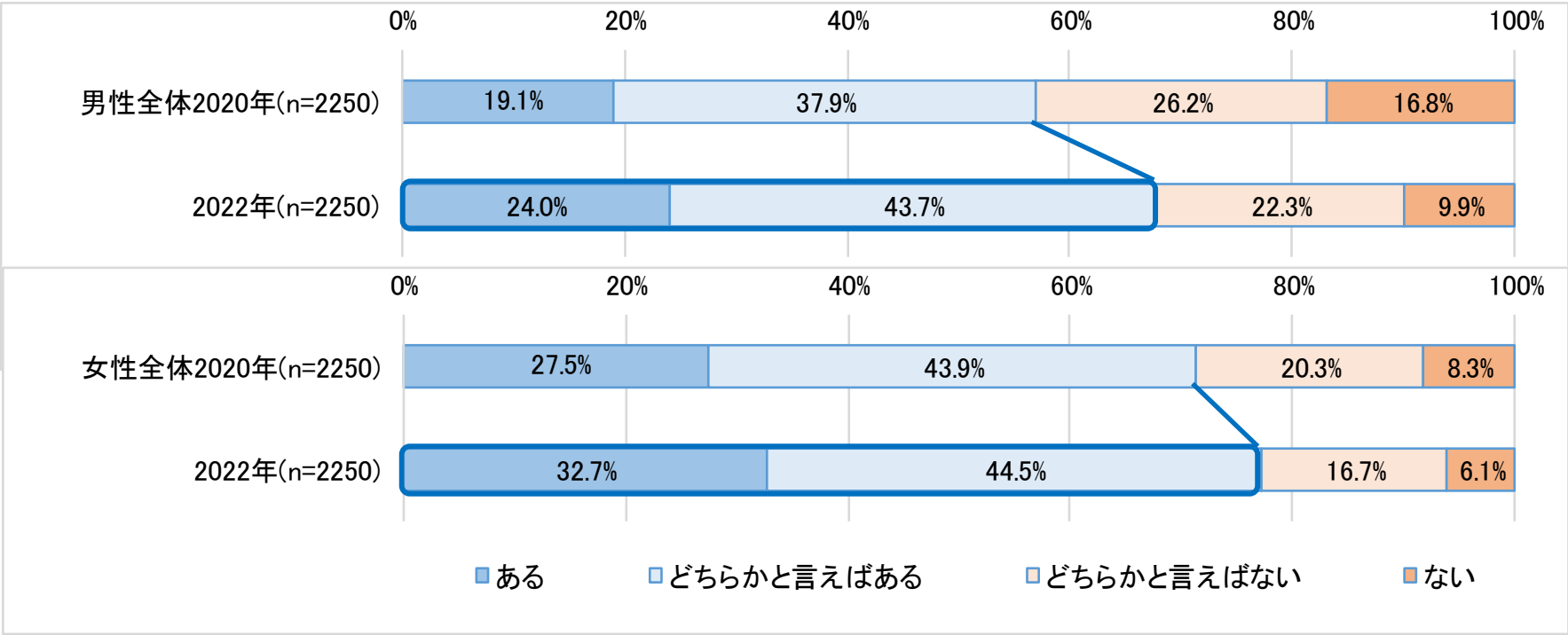
©2022（公財）21世紀職業財団

要約版

2年前よりも「出産しても働き続けるのが当然という雰囲気」が高まった

- ２年前と比較すると、女性は出産しても働き続けるのが当然という雰囲気が「ある」「どちらかと言えばある」と回答した人の割合は、男性においても、女性においても高まっており、2022年では、それぞれ67.7%（+10.7ポイント）、77.2%（+5.8ポイント）である。
- 多様な人が働くことができているという意味において、ダイバーシティは進んでいると言える。

Q3.あなたの職場では、女性は出産しても働き続けるのが当然という雰囲気がありますか。



©2022（公財）21世紀職業財団

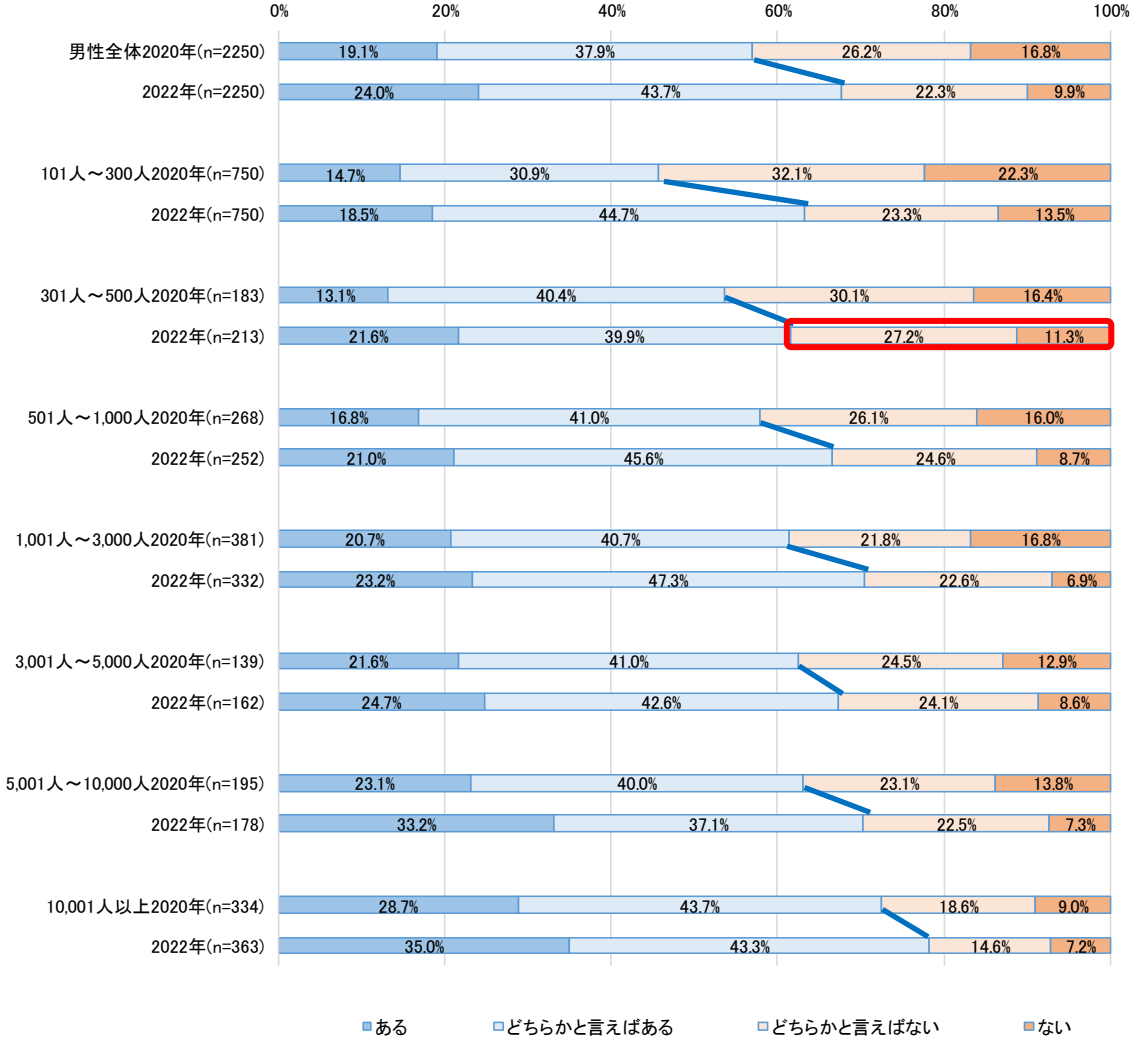
男性　企業規模別
どの規模の企業においても、2年前よりも「出産しても働き続けるのが当然という雰囲気」が高まった

- 出産後働き続けるのが難しかった女性は退職してしまっていることも多いため、男性のほうが組織の現状を表していると考え、男性について、企業規模別に２年前と比較した。女性は出産しても働き続けるのが当然という雰囲気が「ある」「どちらかと言えばある」と回答した人の割合は、どの規模の企業においても、高まっている。

- しかし、301～500人企業では、約4割が「ない」「どちらかと言えばない」と回答している。

【男性：企業規模別　2年前との比較】就業継続できる雰囲気

Q3.あなたの職場では、女性は出産しても働き続けるのが当然という雰囲気がありますか。



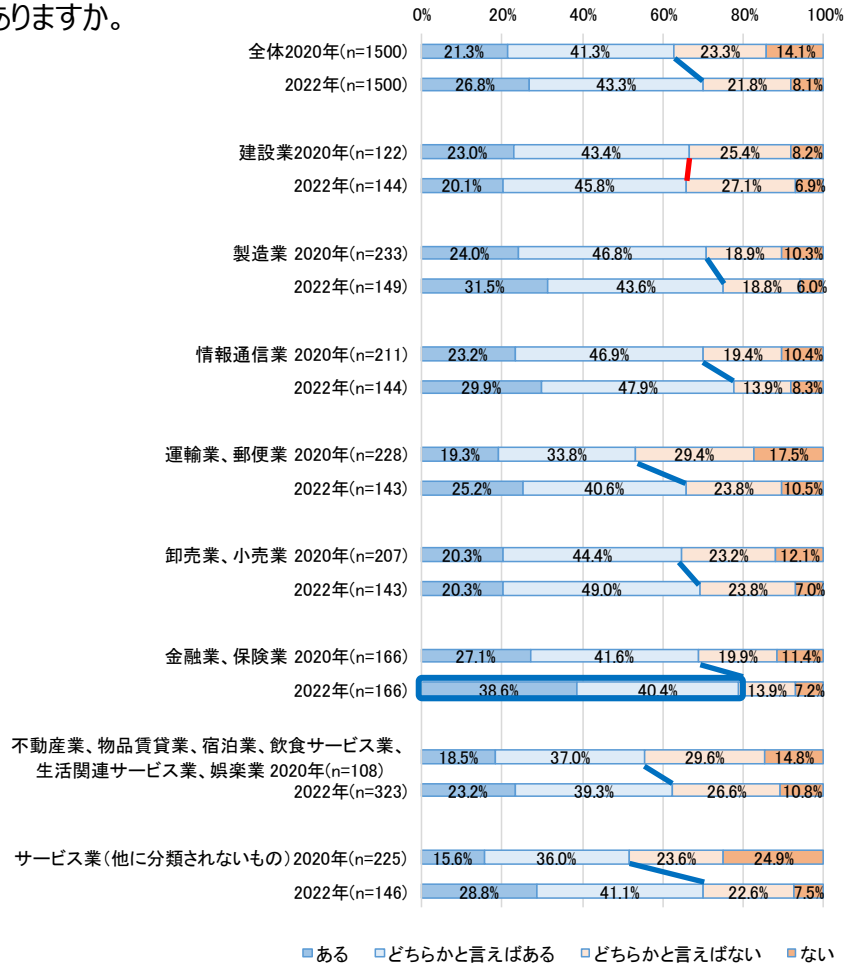
©2022（公財）21世紀職業財団

301人以上企業　男性　業種別
多くの業種で2年前よりも、「出産しても働き続けるのが当然という雰囲気」が高まった

- 301人以上企業の男性について業種別にみると、女性は出産しても働き続けるのが当然という雰囲気が「ある」「どちらかと言えばある」と回答した人の割合は、建設業以外の業種では、2年前と比べ、高まっている。
- 金融保険業で最も高く、79.0%である。
- 2年前と比べ割合が最も高まったのは「サービス業」で、18.3ポイント高くなった。

【301人以上企業　男性：業種別　2年前との比較】
就業継続できる雰囲気

Q3.あなたの職場では、女性は出産しても働き続けるのが当然という雰囲気がありますか。



＊2022年の全体には「電気・ガス・熱供給・水道業」も入れている。

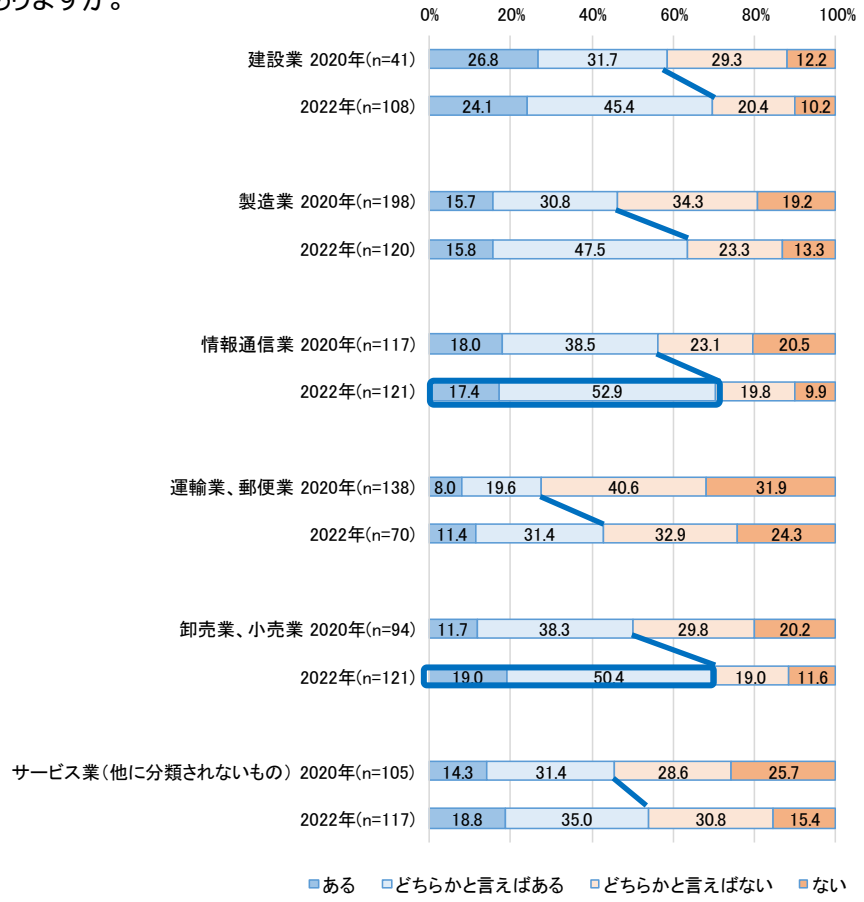
©2022（公財）21世紀職業財団

101～300人企業　男性　業種別
どの業種でも、2年前よりも、「出産しても働き続けるのが当然という雰囲気」が高まった

- 101～300人企業の男性について、業種別にみると、女性は出産しても働き続けるのが当然という雰囲気が「ある」「どちらかと言えばある」と回答した人の割合は、どの業種においても2年前と比べ、高まっている。
- 情報通信業で最も高く、2022年は70.3%である。
- 2年前と比べ割合が最も高まったのは卸売業・小売業で、19.4ポイント高くなり、69.4%になった。

【101～300人企業　男性：業種別　2年前との比較】
就業継続できる雰囲気

Q3.あなたの職場では、女性は出産しても働き続けるのが当然という雰囲気がありますか。



＊サンプル数が少ない業種は除いている。

©2022（公財）21世紀職業財団